

重要無形 民俗文化財 (国指定) 「徳山の盆踊」



徳山区にて、徳山古典芸能保存会と小中学生を中心とした若者により、国指定重要無形民俗文化財の「徳山の盆踊」が奉納されました。

例年の開催日となる8月15日には台風が接近し大雨となったことから例祭のみが執り行われ、盆踊の奉納は17日となりました。

当日の朝「でーるでーるでーるよー!! 鹿ん舞がでーるよー!!」のかけ声に合わせて出発した一行がお囃子に合わせて地区内を練り歩きながら舞を披露、祭りの始まりを告げました。

夕方からは祭り行列が徳山コミュニティ防災センターを出発、途中にある愛宕地藏堂でヒーヤイト鹿ん舞を奉納し、徳山浅間神社へと入りました。

境内で行われた盆踊の奉納では、中心に設けられた舞台でヒーヤイトと狂言、その周囲では鹿ん舞が演じられ、時に優雅で時に力強い演目が繰り広げられました。

また、実施日が休日になったことと、3年ぶりに天候の心配が無かったこともあり、会場には例年になく多くの見物客が訪れることとなりました。鹿ん舞で使われる「鹿頭」の試着や「露払い」の体験なども賑わいを見せ、多くの方が祭りを楽しんでいました。

